

# Pushmiの話

Shibuya.pm テクニカルトーク #8

2007/10/01

宮下 剛輔

<http://mizzy.org/>

# 去年はSVKの話をしました



今年もclkaoプロダクトの話です

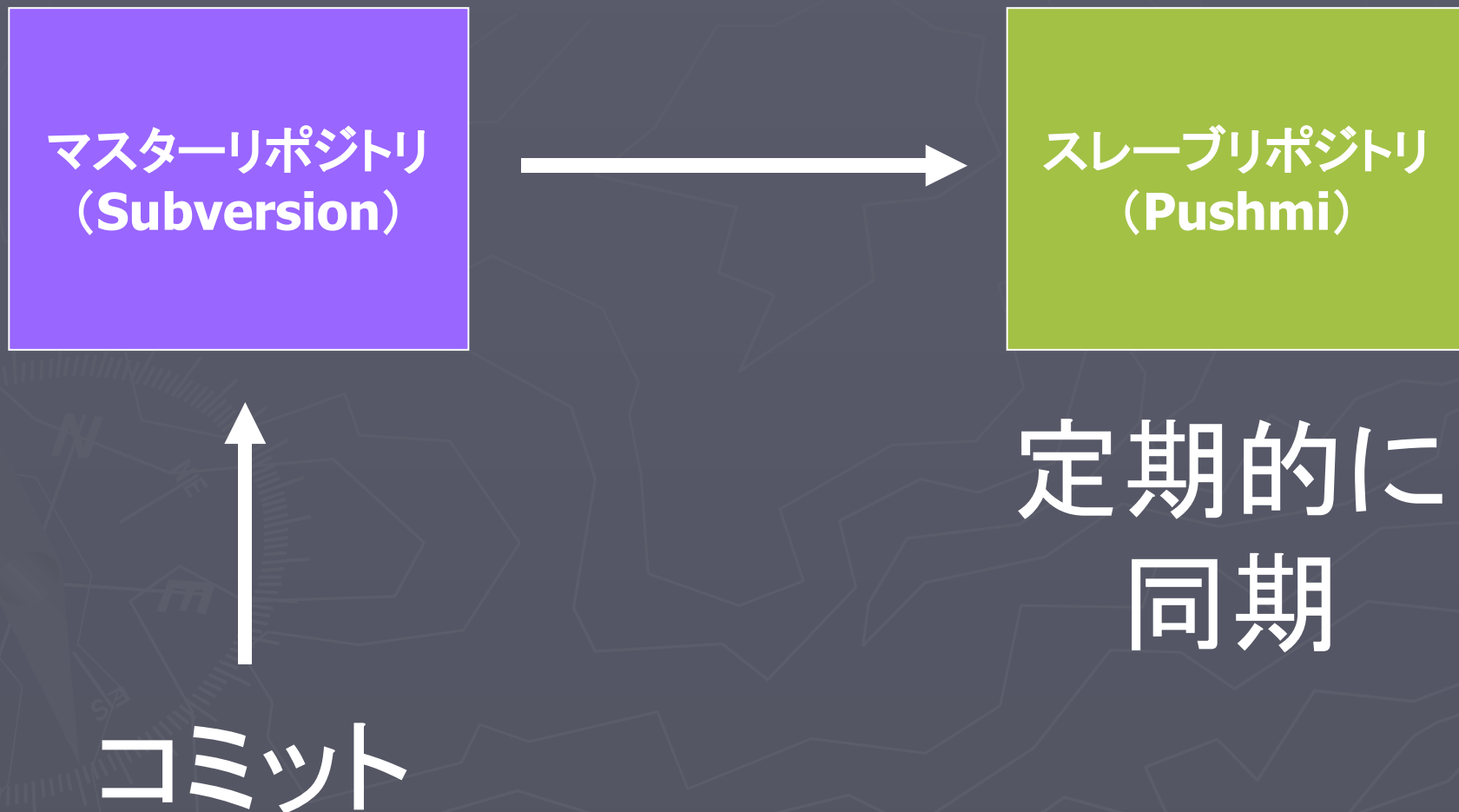
# Pushmi



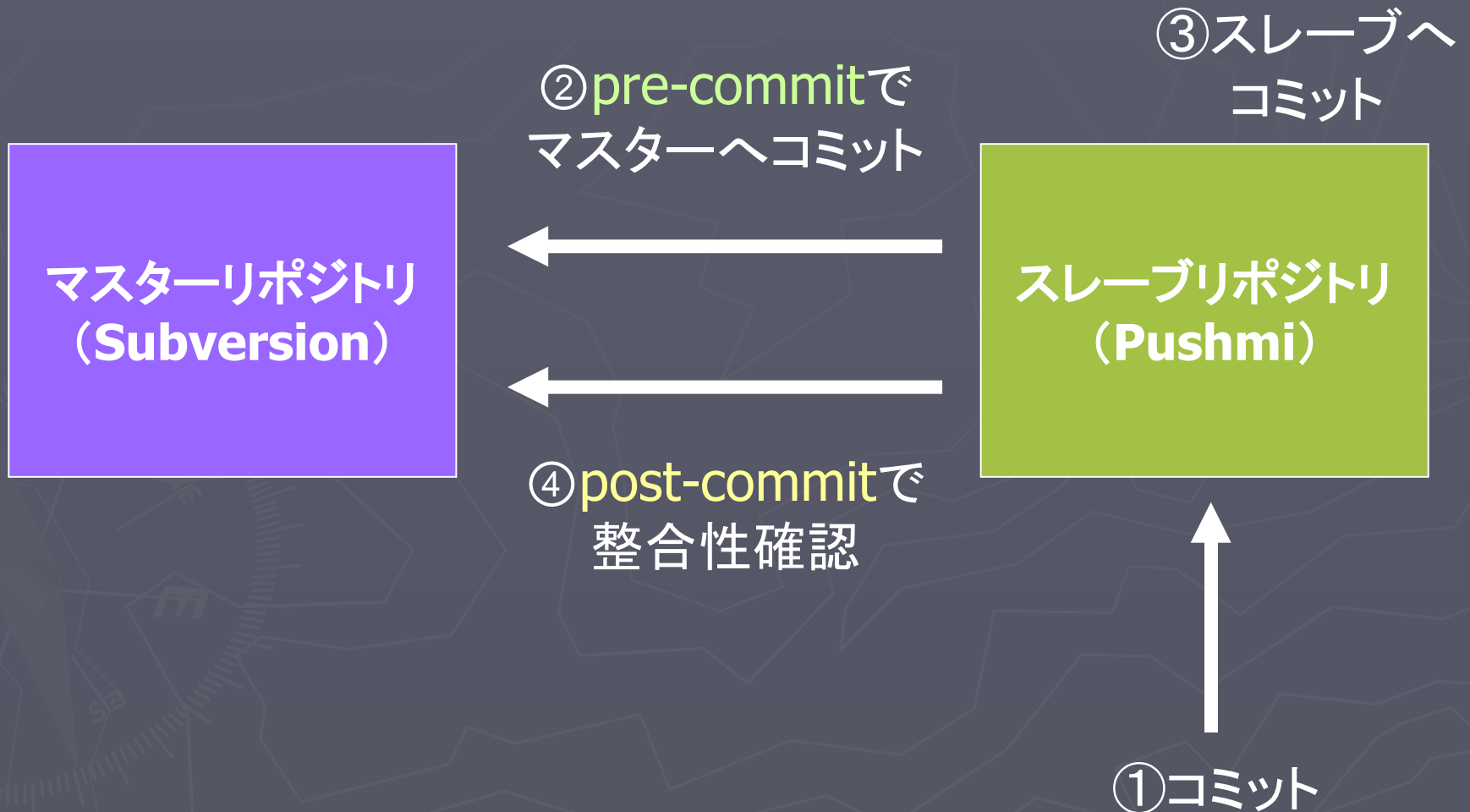
# Pushmiとは？

- ▶ SVKをベースとしたSubversionレプリケーションツール
- ▶ 詳しくは YAPC::Asia 2007 動画で
  - <http://www.i-revo.jp/yapcasia/archive/31.html>
  - Google Videoにもあります (URL長いので省略)
- ▶ YPAC::Asia 2007では話されなかった内部動作の話とか、使ってみてどうかといった話をします

# 動作概要 (マスターへのコミット)



# 動作概要 (スレーブのコミット)



# スレーブリポジトリのつくりかた

- ▶ Pushmiと関連モジュールをインストール
- ▶ memcachedもインストール
- ▶ memcached起動
- ▶ /etc/pushmi.confを設定
  - **authproxy\_port: 8123**

# スレーブリポジトリのつくりかた(つづき)

## ▶ スレーブリポジトリ作成

- `$ pushmi mirror /var/local/svn/slave \`  
`http://master.repository/svn`

## ▶ スレーブリポジトリとマスターリポジトリを同期

- `$ pushmi sync /var/local/svn/slave`

## ▶ cron設定

- `*/5 * * * * /usr/bin/pushmi sync \`  
`--nowait /var/local/svn/slave`

# スレーブリポジトリのディレクトリ構成

- ▶ /var/local/svn/slave/
  - conf/
  - dav/
  - db/
  - format
  - hooks/
    - ▶ **pre-commit**
    - ▶ **post-commit**
  - locks

# pre-commit/post-commit

## ▶ pre-commit

- スレーブへのコミット前に、マスターへコミット
- `/usr/bin/pushmi runhook $1 --txnname $2`

## ▶ post-commit

- マスターとスレーブの整合性チェック
- `/usr/bin/pushmi verify $1 --revision $2`

# スレーブリポジトリのつくりかた(つづき)

## ▶ Apacheの設定(2.0系)

```
DAV svn
```

```
SVNPath /var/local/svn/slave
```

```
PerlSetVar SVNPath /var/local/svn/slave
```

```
PerlSetVar Pushmi /usr/bin/pushmi
```

```
PerlSetVar PushmiConfig /etc/pushmi.conf
```

```
<LimitExcept GET PROPFIND OPTIONS REPORT>
```

```
AuthName "mirrored private area"
```

```
AuthType Basic Require valid-user
```

```
PerlAuthenHandler Pushmi::Apache::AuthCommit
```

```
</LimitExcept>
```

# スレーブリポジトリのつくりかた(つづき)

## ▶ Apacheの設定(2.2系)

```
DAV svn
```

```
SVNPath /var/local/svn/slave
```

```
PerlSetVar SVNPath /var/local/svn/slave
```

```
PerlSetVar Pushmi /usr/bin/pushmi
```

```
PerlSetVar PushmiConfig /etc/pushmi.conf
```

```
PerlLoadModule Apache::AuthenHook
```

```
<LimitExcept GET PROPFIND OPTIONS REPORT>
```

```
AuthName "mirrored private area"
```

```
AuthType Basic Require valid-user
```

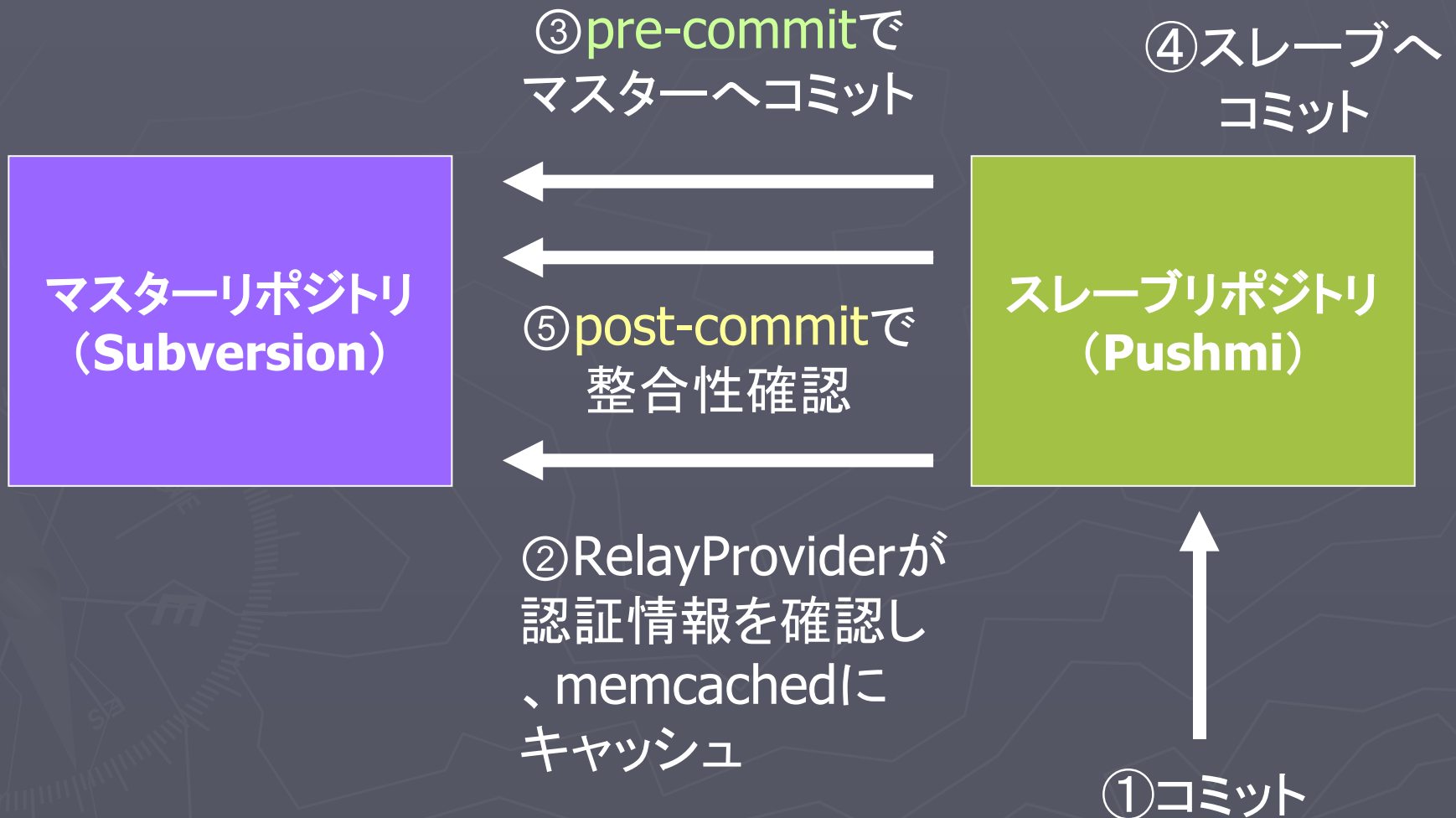
```
AuthBasicProvider Pushmi::Apache::RelayProvider
```

```
</LimitExcept>
```

# Pushmi::Apache::RelayProvider

- ▶ マスターリポジトリに認証情報問い合わせ
  - `pushmi tryauth master_url user password`
  - 認証失敗時に  
`Apache2::Const::HTTP_UNAUTHORIZED` を  
return
- ▶ memcachedにユーザ名とパスワードをキャッシュ
  - `pre-commit`によるマスターへのコミット時にユーザ名とパスワードを使いまわす

# 動作概要 (スレーブのコミット)



# ペパボでの導入理由

- ▶ 東京・福岡でリポジトリを共有したい（特にサーバ管理チーム）
- ▶ 東京・福岡間はOpenVPNでVPN接続
- ▶ 東京・福岡間のネットワークに問題があっても、せめて参照ぐらいはできるようにしておきたい
- ▶ なんとなくつかってみたかった

# 実際つかってみてどうか

- ▶ 3ヶ月ほど使ってるけど、特に問題なし
- ▶ レプリケーションしている、ということ意識することがほとんどなく、普通にSubversion使っているのと同じ感覚
- ▶ マスターにアクセスできない時はコミットできないけど、SVKと併用しとけば問題なし

おしまい